



我が国の科学者の代表機関
日本学術会議
Science Council of Japan

科学者の代表機関として、ボトムアップで中立的な立場から、政府や市民社会に対して、科学者としての専門的かつ信頼性のある見解（勧告・要望・声明・提言・報告）を提示し、また行政機関からの諮問・審議依頼に対して答申・回答を行っています。

- 学術フォーラム・シンポジウムなどの開催
- サイエンスカフェなどの企画・実施

政府・社会に対して、日本の科学者の意見を直接提言

市民社会との対話を通して科学への理解を深める

地域社会の学術振興や学協会の機能強化に貢献
～科学者ネットワークの構築～

日本を代表するアカデミーとして国際学術交流を推進



- 地区会議を組織し、地域の研究者との懇談、地方での講演会を開催
- 地方学術会議の開催
- 約2,000の日本学術会議協力学術団体と協力関係を構築
- 若手アカデミー活動の推進

- Gサイエンス学術会議への参加と共同声明の作成
- 国際学術団体への加盟・貢献
- アジア学術会議への参画
- Future Earthの国際的展開
- 国際会議・シンポジウムの開催

日本学術会議とは

日本学術会議（昭和24年設立）は、わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学界と提携して学術の進歩に寄与することを使命として、日本学術会議法に基づいて設立された日本のアカデミーであり、内閣総理大臣所轄の下、独立して職務を行う「特別の機関」として内閣府に設置されています。

人文・社会科学から生命科学、理学・工学にわたる全分野の科学者で構成され、210名（定員）の会員と約2,000名の連携会員で組織されています。

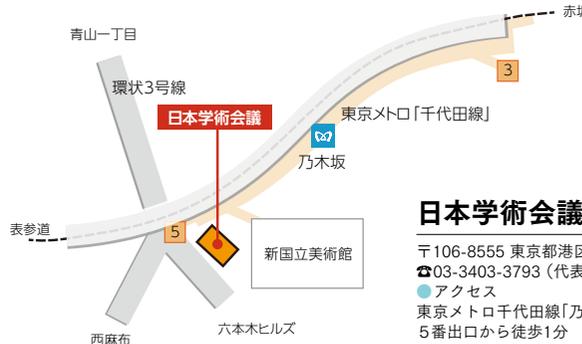


日本学術会議の最新の情報、様々な活動については、ホームページや広報誌等を通じてお知らせしています。



日本学術会議ホームページ
<http://www.scj.go.jp>

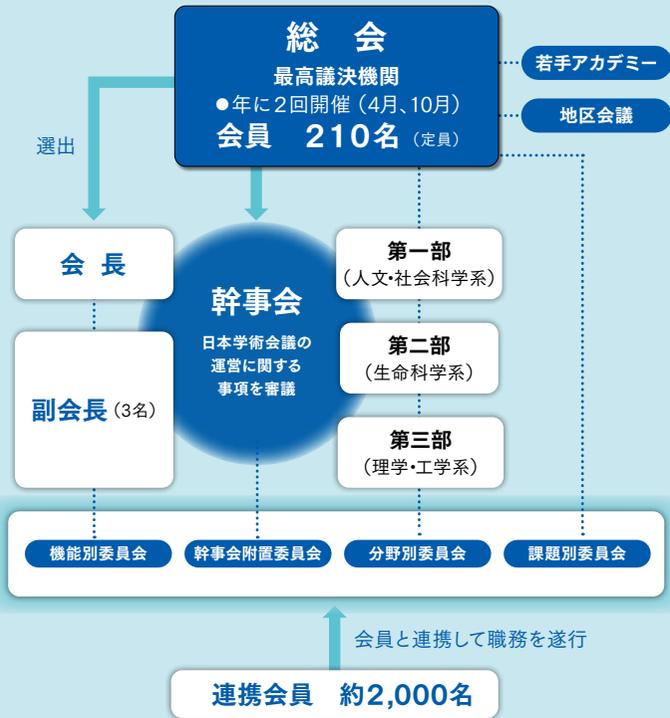
月刊学術広報誌『学術の動向』
<http://jssf86.org/works1.html>



日本学術会議

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34
☎03-3403-3793（代表）
● アクセス
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅
5番出口から徒歩1分

日本学術会議の構成



第25期日本学術会議会長



梶田 隆章

副会長



科学者委員会担当
望月 眞弓



科学と社会委員会担当
菱田 公一



国際委員会担当
高村 ゆかり



会員・連携会員の選考や処遇に関すること



K先生

Q1. 選挙で選ばれているわけでもないのに、どうして学術会議は「我が国の科学者の代表機関」って言うの？

昔は投票で選んでいた時期もあったんだけど、今は、会員や連携会員が次期の候補者を推薦する「コ・オペレーション方式」という方法で選んでいるんだ。この方式は、海外の多くのアカデミーが採用している標準的な選考方法なんだよ。

Q2. 連携会員って何？

学術会議の会員は210名と法律で決まっているんだ。だけど、それだけの人数で全てができるわけじゃないから、会員と協力して活動してくれる「連携会員」という制度があって、約2,000名いるんだよ。

Q3. 会員と連携会員には、お給料が支払われるの？

非常勤だから固定給や年金はないよ。会議に出席すると手当（日額19,600円）と実費相当額の旅費が出るんだ。会員は会議出席以外の活動、例えば、会議のための資料準備や提言案その他の文書の作成、シンポジウムの企画・立案などに多くの時間を使っているけど、全部無償でやっているよ。

Q4. 所属大学や男女比などが偏っているという人もいるけど。

「優れた研究などの業績を有する」ことを前提にした上で、学術分野や男女比、地域などのバランスを考えて、適切な会員構成になるように工夫しているよ。今期は約38%が女性で、これは国会や大学と比べてもずっと女性の割合が多いよね。45歳未満の若い科学者で組織された「若手アカデミー」もあるよ。

日本学術会議の位置づけに関すること

Q5. 学術会議は、内閣府の組織で、国のお金で運営されているのに、「政府と独立して活動」とはどういうことなの？

法律で「内閣府に置かれる特別の機関」と決められているんだ。そして、国が定めた日本学術会議法で、科学に関する様々な問題に対して独立して職務を行うことになっているんだ。科学技術担当大臣の下に設けられた「有識者会議」は、平成27年（2015年）の報告書で、時々政治的判断から独立して「真に学術的な観点」に立った日本学術会議の役割の重要性がますます高まっていると結論しているんだ。

Q6. 分野を越えた活動のこと、詳しく知りたいな。

例えば、ゲノム編集、AI技術のように、生命科学、理学・工学だけでなく、人文・社会科学の視点も含めて多面的に検討すべき重要なテーマでは、分野を越えた議論が必要になる。そういうときこそ、学術会議の役割が重要になるんだ。最近では、コロナウイルスや教育のデジタル化に対する提言も出しているんだよ。



Q7. 外国のアカデミーには民間や非政府組織が多いと聞くけど、そういうアカデミーはどのように運営されているの？ 国との関係はどのようにになっているの？

各国のアカデミーの成立や設置形態は、それぞれの国の事情や背景が違うから、あらかじめ「あるべき形」が決まっているわけじゃないんだ。王侯貴族の保護の下で成立したり、市民の創意の中で生み出されたり、あるいは国の方針で設立されたりで、様々なんだ。予算のあり方や活動の内容も異なっているから、単純に比べるのは難しいね。一つ例を挙げると、世界のアカデミーでも長い歴史を持つ英国王立協会は、会員は外国人会員を含め約1,700名で構成され、2018年度の年間収入は総額で約1.1億ポンド（約148.5億円）なんだ。年ごとに多少の変動はあるけど、そのうち、約7割程度が国からの助成金なんだ。

Q8. G7やG8に連携したアカデミーの会議があるんだって？

G7/G8(主要国首脳会議)に合わせて開催される「Gサイエンス学術会議」にも取り組んでいるんだ。平成17年（2005年）以降のG7サミットでは、サミット開催に先駆けてサミット参加各国のアカデミーが協力して、参加各国の政府首脳に対する政策提言をGサイエンス学術会議共同声明として取りまとめ、公表しているんだけど、日本学術会議は、日本のアカデミーを代表して、その議論に参加しているんだ。日本がG7の議長国を務めた平成28年（2016年）のGサイエンス学術会議会合では、日本学術会議が主催して2日間の会議を開催し、「脳科学」「災害レジリエンス」「未来の科学者」をテーマとする共同声明を取りまとめたんだよ。

日本学術会議の活動に関すること

Q9. 学術会議は、勧告や答申などを通じて、科学に関する事項や社会的な課題について政府などに様々な意見を示しているって聞いたけど、具体的にどんなことをしているの？

学術会議法では、科学に関わる特に重要な事項について、政府からの諮問に「答申」したり、政府に「勧告」したりすることができることになっている。例えば、答申は政府から諮問があって初めて作られるので、必ずしも頻繁に出されるわけではないんだ。

Q10. 学術会議は、省庁などからも意見を求められるの？

省庁などから重要事項について審議を依頼され、それに応えて「回答」する場合もあるんだ。直近3年間では、「国際リニアコライダー計画の見直し案に関する所見」(文部科学省研究振興局長からの審議依頼)、「人口縮小社会における野生動物管理のあり方」(環境省自然環境局長からの依頼)、「科学的エビデンスに基づく『スポーツの価値』の普及の在り方」(スポーツ庁からの審議依頼)の3件の回答がこれにあたるね。

Q11. 学術会議は、独自の判断で提言などをまとめることもあるの？

学術会議法は「科学に関する重要事項を審議し、その実現を図ること」を学術会議の「独立した職務」として定めているので、要望、声明、提言、報告を独自の判断で示すことができるんだ。学術会議が日常的に審議し、「意思の表出」として政府や社会に示しているのはこれなんだよ。さらに、日本学術会議の審議の成果を広く公表するために、公開シンポジウムなども開催している。今は、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、オンラインで開催しているから、誰でも簡単に参加できるよ。

Q12. 最近の緊急提言の例をもっと知りたいな。

一つの例が、サマータイム導入に関する提言だね。平成30年（2018年）8月当時、2年後の東京オリンピック開催に向けて暑熱対策から与党内でサマータイム導入の議論が始まったものの、科学的議論となっておらず、判断が難しい状況だったんだ。そこで、生物リズム分科会を中心に関連する分科会が合同で緊急に審議を行い、提言「サマータイム導入の問題点：健康被害からの警鐘」を平成30年（2018年）11月7日に発表したんだ。この提言の影響もあって、サマータイムは導入されないうことになったんだよ。

Q13. 日本学術会議が出しているマスタープランについて教えて。

「学術の大型研究に関するマスタープラン」のことだね。様々な分野が必要とする学術的に意義の高い大型研究計画を網羅的に体系化することにより、学術の発展に寄与し、日本の大型研究計画のあり方について一定の指針を与えることを目的として、3年に一度策定しているんだ。マスタープランは、科学政策を立てる上でも役立っているんだよ。例えば、文部科学省では、大型プロジェクト推進にあたって優先順位を明らかにするためにマスタープランを参考にして、「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップ」を策定しているんだ。最新の第24期のマスタープランについては、学術会議のホームページを見てね。



Q14. 学術会議ならではの分野横断的な議論の例が知りたいな。

例えば、声明「科学者の行動規範」(平成18年（2006年）、平成25年（2013年）に改訂)を発表し、日本の科学者全体が自覚すべき社会的役割等について啓発活動を行っているよ。この声明は、平成23年（2011年）の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故を受けて、改めて科学者の在り方について検討し、科学的助言に関する科学者の役割についての検討を行ったものなんだ。さらに、この声明を土台として、学術会議の協力のものに、日本学術振興会から【テキスト版】科学の健全な発展のために一誠実な科学者の心得一が刊行されたんだ。この冊子は、研究倫理教育の教科書として幅広く活用されているよ。

Q15. 学術会議は、一般の人に科学を理解してもらおう活動をしてるって聞いたけど。

代表的なものに「サイエンスカフェ」があるよ。サイエンスカフェとは、科学の専門家と一般の人々が、カフェなどの比較的小規模な場所でコーヒーを飲みながら、科学について気軽に語り合う場をつくらうという試みなんだ。サイエンスカフェが日本に広まるきっかけを作ったのは学術会議なんだよ。今は地方にも広げる「全国縦断サイエンスカフェ」をやってるよ。

Q16. 他にも地方での活動をやっているの？

学術会議のシンポジウムを地方でやる「地方学術会議」というものがあるよ。会長や幹事会メンバーが各地に出かけて、科学者や地域のリーダーと地域の課題の解決について意見交換したりしているんだ。それから「地区会議」というものもあるよ。これは、それぞれの地域から選ばれた会員・連携会員がやっている活動だ。例えば、最近行われた北海道地区会議主催の学術講演会「スポーツ・科学・社会」では、札幌に拠点を置く日本ハムファイターズの元コーチにも講演者に加わってもらったんだよ。学術会議の活動は地方創生にも役立っているんだ。

